

シンポジウム「震災とICT」

「東日本大震災と放送メディア」

NHK仙台放送局長 菅 俊秀

平成23年9月30日

テレビは震災をどう伝えたか

緊急地震速報～
通常番組(国会中継)を中断して臨時ニュース



ヘリコプター 中継
(仙台周辺の沿岸部を襲う大津波)



ロボットカメラの中継
(岩手・釜石市を襲う大津波)



テレビは震災をどう伝えたか



地震発生から約5分後 気仙沼港も異変見られず

2

テレビは震災をどう伝えたか

14時52分頃

宮城 気仙沼
中継

第1波到達予想時刻・予想高さ		
大津波警報 (予報)		
岩手県	午後 3:00	3m
宮城県	午後 3:10	3m
福島県	午後 3:20	3m
津波注意報		
千葉県内房	午後 3:20	2m
伊豆諸島	午後 3:20	1m

岩手・宮城・福島
大津波警報 観測された津波

石巻 鮎川	午後 2:52	50cm
大船渡 港	午後 2:54	20cm
釜石 港	午後 2:56	20cm
むつ 関根浜	午後 2:54	

15時02分頃

15時14分頃

岩手 釜石

「3m～6m」の予想。
気仙沼港も異変見られず

第1波の観測 「50cm」

この間の「避難呼びかけ」
は適切だったか。

「10m以上」の予想。大津波警報の地域拡大。
釜石、石巻など、各地に巨大津波。

3

NHK仙台のホームページで 発生時のニュースが見られます

<http://www.nhk.or.jp/sendai/index.html>



<http://www3.nhk.or.jp/news/jishin0311/>

4

NHKのラジオ

ラジオ

- ・停電でも使える。(電池で長時間聞こえる)
- ・何処でも聞こえる。(テレビに比べて)
- ・“みんな”で聞くことができる。



「災害に強いメディア」

ラジオの特徴を生かした災害報道

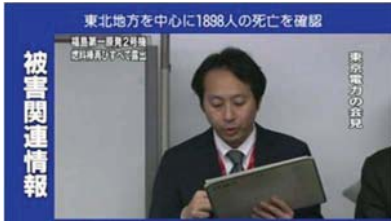
- ・ラジオでの避難呼びかけ。
- ・ラジオに適した伝え方。
- ・日頃からの、視聴者とのつながり。



【NHK仙台のラジオブース】

5

全国放送とローカル放送



ライフラインの情報、生活情報を、スクロール表示。



各県ごとのきめ細かな対応が必要だが。。。

被災者に必要な情報を確実に伝える

ラジオ



「地域のきめ細やかな情報」



- ・地域のラジオ局、コミュニティーFM局との連携
- ・ツイッター等、インターネットとの連携

6

通信手段の確保

激しい揺れ、巨大な津波、長期間の停電
広範囲の通信網に未曾有の被害

有線電話
携帯電話



非常に、つながり難い

衛星携帯電話が威力を発揮



価格、端末の大きさ、保有台数の問題



多様な通信手段の確保

7

今後も続く、放送の役割

地域の放送局として

被災者の今を伝える。



復興計画の遅れ、問題点を
討論する場になる。



防災上の検証を行う。



復興を記録する。



東北6局
地域を見つめる
夕方18時10分のニュース番組

秋田局 	青森局
山形局 	盛岡局
福島局 	仙台局

シンポジウム 「震災とICT」

「東日本大震災 と 放送メディア」

終わり